



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日

上場会社名 日建工学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9767 URL <http://www.nikken-kogaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 皆川 曜児
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 長濱 龍夫 TEL 03-3344-6811
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	6,127	△9.2	△280	—	△295	—	△345	—
29年3月期第3四半期	6,745	△4.2	73	1.0	60	△1.8	30	△33.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 △313百万円 (ー%) 29年3月期第3四半期 64百万円 (681.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	△18.90	—
29年3月期第3四半期	1.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,041	1,945	24.2
29年3月期	7,017	2,369	33.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 1,943百万円 29年3月期 2,365百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
30年3月期	—	3.00	—		
30年3月期(予想)				0.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	0.1	△200	—	△240	—	△195	—	△10.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）三省水工株式会社、除外 1社（社名）
（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	18,622,544株	29年3月期	18,622,544株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	376,365株	29年3月期	369,361株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	18,249,727株	29年3月期3Q	18,255,223株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、上記予想の前提条件等に関する事項につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界各国での地政学的リスク要因が増大しているものの、米国経済の回復傾向に支えられ順調に推移した世界経済のなかで、企業業績や雇用環境の改善傾向が続き、緩やかな回復基調が継続しています。

当社グループの属する事業におきましては、東日本大震災の復興事業がピークから下降傾向にあり、事業の発注量も減少傾向にあります。このような状況において、被災3県の海岸堤防、防潮堤工事に提供する製品の出荷は継続しておりますが、出荷数量が予想値より減少し、その他の地域における事業全体の発注量の減少に伴い型枠貸与および製品の出荷は伸び悩みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、6,127百万円（前年同四半期比618百万円減）となりました。営業損失は280百万円（前年同四半期は営業利益73百万円）、経常損失は295百万円（前年同四半期は経常利益60百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は345百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益30百万円）となりました。

事業別の売上高は、型枠貸与事業が1,064百万円（前年同四半期比70百万円減）、資材・製品販売事業が5,062百万円（前年同四半期比548百万円減）であります。

収益面では、型枠貸与事業の営業損失が124百万円（前年同四半期は営業利益90百万円）、資材・製品販売事業の営業損失が155百万円（前年同四半期は営業損失17百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は8,041百万円となり、前連結会計年度末比1,024百万円の増加となりました。

その主な要因は、現金及び預金の増加1,199百万円、電子記録債権の増加88百万円、受取手形及び売掛金の減少607百万円及び型枠等のその他固定資産の増加189百万円等によるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は6,096百万円となり、前連結会計年度末比1,448百万円の増加となりました。

その主な要因は、借入金の増加1,565百万円、未払金の増加65百万円、設備支払手形等のその他流動負債の増加68百万円、支払手形及び買掛金の減少253百万円及びリース債務の減少94百万円等によるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,945百万円となり、前連結会計年度末比424百万円の減少となりました。

その主な要因は、四半期純損失による利益剰余金の減少454百万円及びその他有価証券評価差額金の増加33百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、平成29年11月10日に公表しました平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）通期の連結業績予想を修正しました。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	407,707	1,606,886
受取手形及び売掛金	3,478,687	2,870,777
電子記録債権	198,945	287,242
商品及び製品	1,753,620	1,772,832
原材料及び貯蔵品	6,958	19,677
繰延税金資産	6,700	—
その他	172,525	225,188
貸倒引当金	△9,945	△9,987
流動資産合計	6,015,200	6,772,617
固定資産		
有形固定資産		
リース資産（純額）	328,000	238,167
建設仮勘定	9,100	9,100
その他（純額）	166,177	356,122
有形固定資産合計	503,277	603,390
無形固定資産	17,071	19,331
投資その他の資産		
投資有価証券	295,916	382,871
長期貸付金	76,500	—
その他	335,194	441,144
貸倒引当金	△225,704	△177,364
投資その他の資産合計	481,905	646,651
固定資産合計	1,002,254	1,269,373
資産合計	7,017,455	8,041,990
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,979,521	2,725,776
短期借入金	610,000	1,320,000
1年内返済予定の長期借入金	124,692	324,496
未払金	100,968	166,112
リース債務	195,686	136,430
未払法人税等	47,379	4,596
その他	145,801	214,171
流動負債合計	4,204,048	4,891,584
固定負債		
長期借入金	211,109	867,080
リース債務	146,212	111,072
繰延税金負債	3,050	9,186
退職給付に係る負債	53,530	181,220
その他	30,311	36,757
固定負債合計	444,215	1,205,316
負債合計	4,648,263	6,096,901

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,427	1,004,427
資本剰余金	541,702	541,702
利益剰余金	832,662	378,156
自己株式	△63,479	△64,685
株主資本合計	2,315,313	1,859,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,279	84,267
その他の包括利益累計額合計	50,279	84,267
非支配株主持分	3,598	1,220
純資産合計	2,369,191	1,945,089
負債純資産合計	7,017,455	8,041,990

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	6,745,922	6,127,042
売上原価	5,583,349	5,139,684
売上総利益	1,162,573	987,358
販売費及び一般管理費	1,088,760	1,267,488
営業利益又は営業損失(△)	73,812	△280,130
営業外収益		
受取利息	864	58
受取配当金	8,890	10,150
受取保険金	3,000	—
たな卸資産処分益	1,399	10,540
為替差益	19	26
その他	1,199	3,484
営業外収益合計	15,372	24,259
営業外費用		
支払利息	16,523	15,648
支払手数料	5,006	21,595
手形売却損	4,091	1,669
その他	3,000	831
営業外費用合計	28,621	39,745
経常利益又は経常損失(△)	60,563	△295,616
特別利益		
負ののれん発生益	—	160,951
固定資産売却益	—	33
特別利益合計	—	160,985
特別損失		
事業整理損	—	194,647
特別損失合計	—	194,647
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	60,563	△329,279
法人税等	31,217	18,105
四半期純利益又は四半期純損失(△)	29,346	△347,384
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△869	△2,377
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	30,216	△345,006

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	29,346	△347,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,424	33,988
その他の包括利益合計	35,424	33,988
四半期包括利益	64,770	△313,396
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,640	△311,018
非支配株主に係る四半期包括利益	△869	△2,377

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、三省水工株式会社の発行済株式の全部を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。なお、三省水工株式会社は当社の特定子会社に該当しております。

また、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第2四半期連結会計期間において、NK関西工建株式会社の100%出資の設立を行い、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	資材・製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,134,727	5,611,195	6,745,922
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,134,727	5,611,195	6,745,922
セグメント利益又はセグメント損失(△)	90,930	△17,118	73,812

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	73,812
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	73,812

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	資材・製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,064,177	5,062,864	6,127,042
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,064,177	5,062,864	6,127,042
セグメント損失(△)	△124,940	△155,189	△280,130

2. 報告セグメントの損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

損失	金額
報告セグメント計	△280,130
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△280,130

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第1四半期連結累計期間において、三省水工株式会社を子会社化したことに伴い、負ののれん発生益160,951千円を特別利益に計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。